

■スウェーデン：使用済燃料の最終処分場建設地がフォルスマルクに決定

スウェーデン核燃料・放射性廃棄物管理会社（SKB）は2009年6月3日、国内の複数地点において実施してきた高レベル放射性廃棄物処分場に関する実行可能性調査（FS）の結果を踏まえ、高レベル放射性廃棄物である使用済燃料の最終処分場としてエストハンマル自治体のフォルスマルクを選定したことを発表した。同社の発表によれば、処分場は地下の岩盤が乾燥しているうえ、亀裂がほとんどないことから長期の安全性に優れている。また、地上施設がフォルスマルク原子力発電所の近隣地域や工業地域に建設されるため、既存のインフラを有効に活用できるとしている。同処分場の操業開始は2023年頃が見込まれ、地下500mの地点に埋設されることになるという。